年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　社会　　科目 公共

教　科：　社会　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　3 組

教科担当者：（　1組：村田　）　（　2組：村田　）　（　3組：村田　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 数研出版　高等学校　公共　　）

教科　社会　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】　国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理の主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立,現代社会を生きる課題とキャリア開発，人間関係の形成と社会参画の意義などについて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている 現代社会を生きる課題とキャリア開発の意義，人間関係の形成と社会への参画の意義について理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	1　青年期と自己形成の課題 2　自己形成と社会への参画 3　個人として尊重される人間 4　社会的な存在としての人間 5　伝統・文化のなかの人間 6　私たちの民主政治 7　地方自治のしくみと役割 8　国会のしくみと役割 9　内閣のしくみと役割 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題，個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴やアイデンティティの確立の視点から，自己形成の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立,現代社会を生きる課題とキャリア開発，人間関係の形成と社会参画の意義などについて，主体的に追究している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	義務論の代表的な考え方としてカントの道徳法則や自律について理解するとともに，ロールズの公正としての正義やセンの潜在能力の平等の意義について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。 公共的な空間における基本的原理である民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	1　政治参加と選挙 2　政党と利益集団 3　メディアと世論 4　公共的な空間における協働とは 5　民主主義とは 6　立憲主義とは 7　人権保障の意義と展開 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 義務論の代表的な考え方としてカントの道徳法則や自律について理解するとともに，ロールズの公正としての正義やセンの潜在能力の平等の意義について理解している 【思考・判断・表現】 エンハンスメント技術は倫理的にどこまで認められるのか，功利主義と義務論の考え方を手がかりに，多面的・多角的に考察し，表現している 【主体的に学習に取り組む態度】「開発」と「保全」「保護」などにかかわる倫理的課題を，功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	三権分立と国会の地位，国会の役割と権限，国会の構成と運営について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている 三権分立と国会の地位，国会の役割と権限，国会の構成と運営について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている	1　私たちの民主政治 2　地方自治のしくみと役割 3　国会のしくみと役割 4　内閣のしくみと役割 5　政治参加と選挙 6　政党と利益集団 7　メディアと世論 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 三権分立と国会の地位，国会の役割と権限，国会の構成と運営について理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治における政党の役割，日本の政党政治，政治影響を及ぼそうとする利益集団，政治資金にかかわる課題などについて，多面的・多角的に考察し，表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割，法の成立と適用，市民生活における法と契約，消費者の権利と責任，司法のしくみと司法参加の意義などについて，主体的に追究している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	道徳を含む社会規範における法の特色，法の役割，法の区分とそれぞれの特色について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。 法案の作成と提出，民事裁判と刑事裁判，裁判における法の適用，法の解釈の意味などについて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	1　法と社会規範の役割 2　法の成立と適用 3　市民生活と法 4　多様な契約 5　消費者の権利と責任 6　司法のしくみと役割 7　刑事司法と司法参加の意義 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 道徳を含む社会規範における法の特色，法の役割，法の区分とそれぞれの特色について理解している。 【思考・判断・表現】 法案の作成と提出，民事裁判と刑事裁判，裁判における法の適用，法の解釈の意味，判例の役割などについて，多面的・多角的に考察し，表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権，刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会などについて，主体的に追究している	○	○	○	13
3学期	貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。 財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度，少子高齢社会における社会保障の課題などについて理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている。	1　金融のしくみと働き 2　中央銀行の役割と金融環境の変化 3　財政の働き 4　財政の課題 5　社会保障の考え方 6　社会保障の課題とこれから 7　働くということ 8　多様な職業選択 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 起業家にとっての資金調達と直接金融，間接金融，クラウドファンディングなどの新たな資金調達について理解している。 【思考・判断・表現】 貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動きについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度，少子高齢社会における社会保障の課題などについて，主体的に追究している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について理解している。 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている 現代の紛争とその要因，紛争の解決に向けた取り組み，難民問題，平和の意味，外交を通じた平和の実現の意義，日本の国際的な貢献などについて理解している， 教科書記載の資料及びその他の資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,まとめている	1　国際社会の成り立ち 2　国際連合の役割 3　日本の平和主義と冷戦 4　冷戦後の世界と日本 5　現代の紛争とその影響 6　平和な国際社会に向けて 教　材：教科書 その他：一人一台端末の活用	【知識・技能】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について理解している。 【思考・判断・表現】 有限な資源を将来にわたってどのようなルールの下で維持・管理するのか，漁業をめぐる国際社会の課題について二つの視点を手がかりに，多面的・多角的に考察し，表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の紛争とその要因，紛争の解決に向けた取り組み，難民問題，平和の意味，外交を通じた平和の実現の意義，日本の国際的な貢献などについて，主体的に追究している。	○	○	○	11 合計 78